



「鴨川小学校家庭学習のすすめ」

上尾市立鴨川小学校

『家庭学習』について

毎日の学習は将来、子供たちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。埼玉県学力・学習状況調査の結果からも、学校外での学習時間の確保や SNS の利用時間との学力の維持向上との関係が分析されて、学力の維持向上には、学習時間の確実な確保が重要であることが結果となって表れています。鴨川小学校でも、学習内容が定着するように日々教育活動に努力していますが、学校と家庭と連携することで、より確かな学力が定着を目指していききたいと思います。

保護者の皆様には、この『家庭学習のすすめ』を子供たちと一緒に御覧いただき、ぜひ、御理解と御協力をお願い致します。

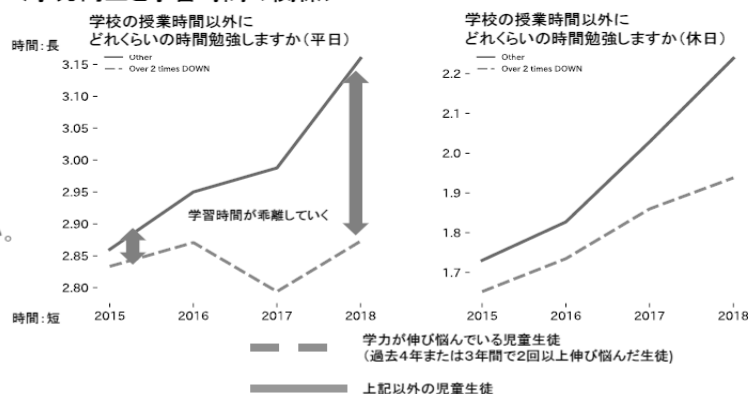
《参考資料》

①学力の維持向上と 学習時間の長さは強く関係

学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒の学習時間などの状況について分析

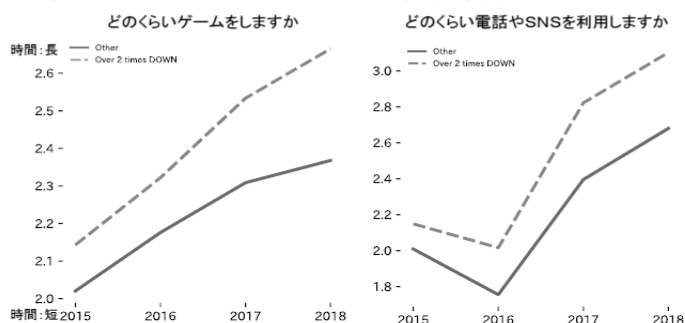
- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、学力を維持向上できている児童生徒の方が学習時間が長い。
- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、学年が上がるにつれて、学習時間の長さに乖離が生じる。
- その他、宿題の実施状況や予習・復習の実施状況なども同様の傾向が見られる。

＜学力向上と学習時間の関係＞



②学力の維持向上とゲームやSNSの利用時間の長さは関係

＜学力向上とゲームやSNSの利用時間の関係＞



学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒のゲームやSNSの利用時間などの状況について分析

- 学力を維持向上できている児童生徒と、学力が伸び悩んでいる児童生徒では、学力を維持向上できている児童生徒の方がゲームやSNSの利用時間が短い。
 - 「ゲームやSNS利用について、家での約束を決めているか」という質問に対して学力を維持向上できている児童生徒の家庭の方がルール作りが行われている。
- 学習時間とゲームやSNSの利用時間の間にも関係性があると考えられる。(学習時間が長い→ゲーム等の時間が短い)

平成30年度埼玉県学力・学習状況調査データ活用事業における分析結果より

『家庭学習のすすめ』を通してそだてたい子供の姿

- ① 家庭学習の習慣や方法を身につけた子
- ② 学ぶ意欲を持ち続け、進んで学習に取り組む子
- ③ 時間の有効な使い方を身につけた子

(テレビやゲームの時間より、勉強や読書、お手伝いの時間が多い)



家庭学習をはじめる前の約束

- ① 決まった時間にやろう。
- ② 同じ場所でやろう。
- ③ きちんと座ってやろう。(グー・ペタ・ピンのいい姿勢) 鉛筆を正しくもとう。
- ④ 静かな環境で集中してやろう。
テレビを見ながらおやつを食べながらやらない。
- ⑤ 机の上はきれいにしてからはじめよう。
- ⑥ 計算やテストなどは、必ず丸付けまでやろう。
- ⑦ まちがえた問題は、できるだけやり直そう。
わからなかったら、調べる、聞く!!

家庭学習の流れ～習慣化していこう～

《始める前に…》

- ・連絡帳を見て、宿題をたしかめよう。
- ・机の上やまわりを、整頓しよう。

《さあ！家庭学習を！！》

- ・丁寧に取り組もう。
- ・答え合わせまで行い、
“自分はわかっているのか、できているのか”
を知りましょう。直しまでやろう！
- ・宿題が早く終わったら、自主学習や読書をしよう。

《終わったら…》

- ・明日の持ちものの準備と確認。
- ・鉛筆を削ろう。

《ご家庭へのお願い》

「やればできる」という気持ちを持たせ、子供の自己肯定感が育つように、お子さんのがんばりを認め励まし、学習を支えてあげてください。

例えば…

- ・以前より（字が）上手になったね。
- ・集中してできたね。
- ・丁寧に書けたね。
- ・よく考えているね。
- ・たくさんできたね。
- ・詳しく調べられたね。
- ・この問題が解けるのはすごい。
- ・直しまでよくがんばったね。



学習の様子を温かく見守っていただき、時々学習の環境が整っているか、確認をしてください。

全学年を通して・・・

家族の一員として、お手伝いや役割を決めて家庭の役に立つことも大切です。家庭で養われる道徳性は、様々な集団や社会との関わりの基盤になっていきます。家族の一員として、家族がお互いの立場を尊重しながら家族に貢献する大切さに気付くことで、子供たちも家族の中で、自分の立場や役割を自覚できるようになります。家族のために役に立つ喜びが実感できるようにしてあげてください。